

# 令和4年度卒後臨床研修医募集要項



厚生連高岡病院

## 募集要項

- ◎募集人員 10名（基幹型）予定  
当院では、上記「基幹型臨床研修医の募集以外に、金沢大学医学部附属病院および富山大学附属病院、金沢医科大学病院の中核協力研修病院として若干名の研修医受入れ予定です。
- ◎応募資格
- ・令和3年度医師国家試験を受験する者。
  - ・マッチングプログラムに参加する者。
- ◎選考方法 選考にあたっては、書類審査および面接試験を実施。  
試験実施日時 令和3年7月中旬～令和3年8月初旬 迄の指定日  
(本人希望日を調整します)  
試験実施場所： 厚生連高岡病院
- ◎出願期間 令和3年7月1日（木）～令和3年7月31日（土）
- ◎出願書類
- |                |   |                        |
|----------------|---|------------------------|
| ①臨床研修申請書（当院指定） | } | <u>ホームページよりダウンロード可</u> |
| ②履歴書（当院指定）     |   |                        |
| ③自己推薦書（当院指定）   |   |                        |
| ④卒業見込証明書       |   |                        |
- \* 国家試験合格後は直ちに医籍登録済証明書（写）を提出し、医師免許証の交付があり次第改めてその写しを提出して下さい。
- ◎書類提出先 〒933-8555 富山県高岡市永楽町5-10  
厚生連高岡病院 総務課 湊 宛  
TEL 0766 (21) 3930  
FAX 0766 (24) 9509  
E-mail kensen@kouseiren-ta.or.jp
- ◎ 面接前の病院見学等は本人の希望を考慮の上、日時を決める。

## (プログラムの目的と特徴)

1. 富山県西部の基幹病院として、common diseaseを主体とした患者数が豊富であり幅広い研修を受けることが。また、協力病院との連携により、専門性に特化した疾患も経験出来る。
2. 研修は、原則として、2年間を通じて内科24週以上（一般外来4週を含む）、救急12週以上、外科、小児科、産婦人科、精神科、麻酔科、地域医療をそれぞれ4週以上研修しなければならない。
3. 内科では、循環器、消化器、代謝・内分泌、腎、呼吸器、血液、腫瘍内科及び神経内科などできるだけ研修医の希望に応じたプログラムを予定します。

## (処遇)

身分	: 常勤嘱託医
給与	: (1年次) 400,000円/月額(税込) : (2年次) 430,000円/月額(税込)
保険	: 社会保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
医師賠償責任保険	: 病院において加入。(個人保険は任意)
健康管理	: 定期健康診断、インフルエンザワクチン接種等
宿舎	: 官舎は無し。家賃補助(上限35,000円)有り。 *入居に係る諸経費(礼金、敷金など)は病院が負担する。
通勤手当	: 支給あり(片道2km以上)
図書室	: 24時間利用可。大学病院図書室に文献請求可能。
研修医室	: 研修医専用室有り。各自専用の机、書棚有り。 インターネット利用可。
当直	: 当直シフト(ナイトフロート)有。 日当直手当 有
休暇	: 有給休暇は初年度10日間付与されます。 リフレッシュ休暇(3日間)有り。
制度	: 研修医教育資金として年間15万円を限度として 支給有り。

# 研 修 計 画

## I. プログラムの原則

1. 厚生連高岡病院を基幹型臨床研修病院とする2年間の研修プログラムとし、原則として本院及び協力型臨床研修病院・施設で2年間研修する。
2. 基幹型臨床研修病院での研修期間は52週以上、臨床研修協力施設での研修期間は最大12週とする。
3. 研修方針は、原則として医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（医政発第0612004号）を準用する。
4. 研修医は、卒後臨床研修管理委員会の所属（病院長あずかり）とする。
5. 研修は、原則として、2年間を通じて内科24週以上（一般外来4週を含む）、救急12週以上、外科、小児科、産婦人科、精神科、麻酔科、地域医療をそれぞれ4週以上研修しなければならない。
6. 初期臨床研修期間中のアルバイトはすべて禁止する。



## II. プログラムの参加施設

1. 本院を基幹型臨床研修病院とし、協力型臨床研修病院と共同して臨床研修を行うものとする。
2. 協力型臨床研修病院は、本院と密接な関係を保ち、適切な指導力を有する者が配置されているものとする。



### \* 臨床研修協力病院

- ・ 富山大学附属病院
- ・ 金沢大学附属病院
- ・ 金沢医科大学病院
- ・ 富山県立中央病院（救急）
- ・ 明心会柴田病院（精神科）
- ・ 南砺市民病院（地域医療）
- ・ 金沢医科大学氷見市民病院（地域医療）
- ・ JCHO 高岡ふしき病院（地域医療）
- ・ 厚生連滑川病院（精神科）

### Ⅲ. 定員

本院臨床研修医の定員は、“たすきがけ方式”を含め、1年次、2年次合わせて24名とする。

### Ⅳ. 研修スケジュール

研修は、原則として、2年間を通じて内科24週以上（一般外来4週を含む）、救急12週以上、外科、小児科、産婦人科、精神科、麻酔科、地域医療をそれぞれ4週以上研修しなければならない。

#### 臨床研修スケジュール（例）

##### 1年次（週）

1～8		9～12	13～16	17～20	21～24	25～28		29～32		33～36		37～44		45～52	
救急	救急	総合診療科	内科	外科	麻酔科	当直	休暇	当直	臨床検査	当直	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目

##### 2年次（週）

53～56	57～60	60～64	65～68	69～72	73～76	77～80		81～84		85～88		89～96		97～104	
救急	総合診療科	地域医療	精神科	産婦人科	小児科	当直	休暇	当直	選択科目	当直	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目	選択科目

### Ⅴ. 研修医の募集方法

1. 応募者はすべて面接を行い、採用を決定する。
2. 期日までに応募が定員を超えた場合は、面接の採点により採用順位を決定する。
3. 採用確定後、希望により研修スケジュールの調整を行う。

## 院長からのメッセージ



令和2年4月1日から当院の院長をしています寺田です。

当院は、富山県西部地区の基幹病院として、約32万人の高岡医療圏を中心とした地域の皆さんの医療を支えています。「患者さんと職員が、信頼・安心・満足でき、幸せになれる病院を目指します。」という理念のもと、9つの基本方針（ビジョン）を立てています。その中にもあるように、診療面では「救急医療」と「がん診療」を大きな柱としており、また研修医や学生の教育研修に努め優れた医療人を育成することを、当院の重要な役割であると位置づけています。特に、富山県西部地区では唯一の3次救急を担う救命救急センターを運営している救急科と、7年にわたる米国臨床留学を経て帰国した狩野医師を招いて平成27年11月に開設した総合診療科は、研修医の指導に重要な役割を果たしています。すなわち、当院の初期臨床研修では、救急医療を中心とした総合的な診療能力を身につけることを大事にしています。また、金沢大学、富山大学、金沢医科大学からの常勤医の派遣を受け、32診療科を運営しており、初期臨床研修で必要なほぼ全ての疾患を経験することができると思います。さらに、逆たすき制度により、基幹型の研修医は、金沢大学及び富山大学での研修も可能となっています。その他、英語授業や研修医教育に熱心な著名な先生方をはじめ、院外から様々な講師をお招きして研修会を活発に開催しています。

高岡は、神秘の富山湾に抱かれ、神々が宿る立山に守られた、風光明媚で、海の幸山の幸が豊富で美味しく、自然災害の少ないとても住みやすい街です。日本の渚百選に選ばれた雨晴海岸からは、海越しに3000メートル級の立山連峰の大パノラマを見ることができ、過去には、この景観に衝撃を受け、はるばる九州から当院の基幹型となった研修医もいます。このような素晴らしい環境のなかで、是非当院にて医師としてのキャリアを開始されることを祈念しています。皆さんにお会い出来る日を楽しみにしています。

厚生連高岡病院  
院長 寺田光宏



## 研修責任者からのメッセージ



卒後臨床研修管理運営委員委員長

総合診療科・感染症内科 診療部長 狩野 恵彦

当院の初期研修プログラムは「総合力を養成し、プロフェッショナルへと導く」を指針とし、初期研修医の育成に力を注いでいます。

将来どの専門分野にすすんでも通用する基盤となる力を養うことを重視したプログラムを基本形とし、そこに各個人が好みに合わせてローテーションする科を選択できるようになっています。また将来どの専門分野にすすむか決めるにあたり、富山大学、金沢大学、

金沢医科大学で「逆たすき」研修を行うことも可能です。

救急科研修では、指導熱心な救急医のもと様々な症例に触れることができる救急車の対応、病棟での患者急変時の対応、そして集中治療管理を学ぶことができます。総合診療科研修では、米国臨床留学経験を持つ指導医のもと、内科を臓器横断的に総合的にかつ実践的に学ぶことができるだけでなく、北陸でも数少ない臨床感染症や高齢者医療に関しても実際の症例を通じて生きた知識として学ぶことができます。

富山県西部の基幹病院として、合計 33 診療科と豊富な診療科を有し、様々な症例を手厚い指導のもと経験することができます。

また当院は、院外からの招聘した有名講師による研修医レクチャー&症例検討会が頻回に行われており、富山にしながら全国でもトップレベルの医学教育を受けることができます。横須賀海軍病院医師など外国人医師による症例検討会も頻回に行われ、英語によるコミュニケーションのみならず症例の議論もできるようにスケジュールが組まれています。当院研修修了後、北陸だけでなく、全国のどこの病院に言っても、また海外に行っても通用する医師の育成を目指し、日々プログラムを改善し続けています。

医師としての初期の2年間を、あらゆる角度からサポートする厚生連高岡病院初期研修プログラムで！是非ご検討ください。ご希望があればいつでも見学は受け付けております。



卒後臨床研修管理運営委員会副委員長  
小児科部長 樋口 収

当院は富山県西部地域の公的中核病院で、診療科が合計 33 科と充実しています。経験できる症例は軽症から重症まで幅広く、研修医の先生方の様々な要望に応じた研修が可能な病院です。特に富山県西部地区で唯一の 3 次救急を担う救命救急センターを運営する救急科、感染症対策を含めた総合診療科があることで、救急医療を中心とした総合的な診療能力を身につけることができます。また、内科系、外科系とも症例が非常に豊富であり、数多くの手術や内科専門領域の医療を、経験豊富な指導医のもとで学ぶことができます。総合的がん診療センターや新生児集中治療室での研修も他の病院にはない魅力です。

医師同士の連携は良好で、相談しやすい雰囲気が醸成されており、何でも聞ける・教えてもらえる働きやすい病院だと思います。

月 1 回は研修医とのミーティングも開かれており、研修プログラムの改善点をチェックしながら、よりよいものに変更していく努力を継続しています。病院の各部署では、研修医同士が仲良く働いていると評判です。

**Common disease** の対応はもちろん、すぐに診断がつかない特殊な疾患にどうアプローチしていくかを試行錯誤することができるのも、当院ならではの体験となるでしょう。

当院で研修した様々な経験を糧に、皆さんが今後の医師人生に向かって羽ばたいていかれることこそ私たちの喜びです。

学生実習や病院見学も積極的に受け入れていますので、ぜひ見に来てください。ともに働ける日を心待ちにしています。



## 卒後臨床研修医（初期研修医）の声

基幹型研修医(2年目)

H・K

私は学生の頃、地元が高岡であるということと3次救急だから重症患者が集まってくるのだから勉強になりそうという点からこの病院での研修を決めました。実際に研修医として働いてみると、学生の頃に想像していたより何倍もの充実した研修となっていることを実感しています。

具体的にはいわゆる市中病院は大学病院に集まる珍しい疾患というよりは一般的な疾患をみる機会が多いです。また、指導医と1対1の体制で患者さんを見る機会が多いです。ですので、初期研修医で経験すべき疾患を主治医の立場として入院から退院まで管理するという経験がたくさんできます。どんなゲームやスポーツも実況動画や試合を見るだけではなく、実際にプレーしないと上達しないように、病気の管理も実際に自分が主導で検査から治療、退院までの流れを考えて管理することで初めて身につくのだと痛感しました。もちろん指導医の下で診療するので安心して患者さんに向き合うことができます。



この病院で研修して1年ほど経ちましたが、専門性に特化した珍しい疾患に詳しくなることも大切ですが、一般的な疾患をしっかり治し管理することができる力を初期研修医の期間に身に付けることの方が重要なのではないかと考えるようになりました。初期研修期間は基礎的な能力を育み医者としての基盤を築く期間だと考えるからです。しかし、大学病院のような先進医療に触れたり、指導医や学生の前で緊張しながらプレゼンしたりする経験をすることも必要です。そこで逆たすき制度を有効活用し大学病院等で勉強するとより良い研修になるのではないかと思います。

また、救急も充実しています。2020年卒の私は1年目の時は従来の当直勤務での救急対応をしていましたが、3次救急なので重症患者の初期対応をすることがしばしばありました。2021年度から当直制度からナイトフロート制度が導入され、集中的に救急対応を行う期間が設けられました。ナイトフロートの良い点は昼間はしっかり休み、夜間のみ勤務することで勤務中は脳をフル回転できることです。昼夜ずっと働くことによる体や脳の疲労を軽減するだけでなく、来院された患者さんをしっかり問診・診察し、病態をしっかりアセスメントしてよりよい医療を提供することができると思います。



新制度の導入にあたり、我々研修医の意見も取り入れながら柔軟に対応していただける当院の研修は、この先もますます質の高いものにアップデートされていくと思います。

少しでも興味を持っていただけたらぜひ見学にお越しください。お待ちしております。

## 基幹型研修医(2年目)

M・J

私は医学部5年生の冬、当院の総合診療科、救急科、形成外科で選択制臨床実習をさせていただきました。お世話になったどの診療科でも、ほぼ全ての症例に対してまず研修医が診察し、その後速やかに指導医の先生に報告できるとともに改善点を指摘して頂ける環境にあること、そして疑問点や診察中の不安要素があればいつでも相談できること、看護師さんや技師さんをはじめとした医師以外の専門職の方々とも円滑な情報共有ができる環境にあり、それぞれの職種での専門的なご指導を頂けることに大変魅力を感じ、当院での初期研修を志望しました。

実際にこの1年間は各科の教育的な先生方のもと、まず患者さんの全身状態について自力で評価し、今後の治療方針を具体的に提示するという過程を数多くの症例で経験しました。そしてその科における専門的な技術だけでなく、どの診療科でも必要となる知識や、専門医に繋ぐまでの適切な初期対応等、他科に進むからこそ研修医のうちに学んでおくべきことを重点的にご指導いただきました。**common disease** や緊急性の高い疾患がより多く集まる当院だからこそ、このような3年目以降の基礎を育む研修が可能になっていると思います。

その他当院の研修の特色として、当院の経験豊富な先生方による研修医向けのレクチャーや症例検討会が週1~2回、有名な外部講師による講義が月1回開催されており、勉強の機会には大変恵まれています。そして今年から新たな試みとしてナイトフロート制度、内科複合研修、臨床検査部での研修が加わりました。ナイトフロートでは日中の研修から外れ、夜間の当直帯(17時~翌8時)の救急外来での勤務を、交代で休みを取りながら2週間継続して行います。これまではどうしても当直翌日のパフォーマンスの低下が危惧されましたが、この制度の導入により長時間の連続勤務を回避することができます。加えてナイトフロート期間以外ではローテ科の研修に集中することができるという利点があります。内科複合研修では内科専修医と研修医でチームを組み、一つの科に属することなく教育的な症例を各内科の先生から振り分けていただき、複数の診療科の患者を同時期に担当します。臨床検査部では採血やエコー等の技術の習得の他、検査データの解釈の仕方や各種検査を依頼する際の注意点等について学ぶことができます。これらはまだまだ始まったばかりの制度のため、私たち研修医の意見を反映しながら今後さらにより良い研修となっていく予定です。さらに詳しく話を聞いてみたい方や、文章中の外部講師レクチャーに興味がある方は学生さんも多数参加されておりますので、是非一度当院へ見学・受講しに来てください。研修医一同お待ちしております。



令和4年度 厚生連高岡病院卒後臨床研修システム

臨床研修申請書

年 月 日

厚生連高岡病院 院長  
 卒後臨床研修管理委員会委員長  
 寺田 光宏 殿

令和4年度厚生連高岡病院卒後臨床研修システム選考試験へ出願します。おって、採用された上は法令等ならびに厚生連高岡病院及び研修協力病院の諸規則を遵守し勤務いたします。

ふりがな 氏名	①	性別
		男・女
生年月日	昭和・平成 年 月 日生	
現住所	〒	
電話番号		
最終学校・学部科名		
卒業年月日	平成・令和 年 月 卒業・卒業見込み	

# 履 歴 書

(写真欄)

1. 3ヶ月以内に撮影したもの
2. 正面、上半身、脱帽、無背景で、本人であるとはっきり確認できるもの

ふりがな 氏 名		性別	男・女
生年月日	昭和・平成                      年                      月                      日生		
現住所	〒		
電話番号			
E-mail			

年 月	学 歴(高等学校から記入)

年 月	職 歴

年 月	免 許 ・ 資 格 ・ 賞 罰

自己推薦書

\*氏名：\_\_\_\_\_

志望動機、研修の目標等について記載して下さい。